

お客様ならびに販売店（取付店）様へ 安全にお使いいただくために必ず最初にお読みください。

※安全上の注意事項※

パッケージ、取扱説明書に記載してある指示及び警告、注意に反したご使用により
損害が発生した場合、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

⚠️警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・製品包装のビニール袋等は、子供や幼児がかぶったり吸い込んだりしないよう、手の届かないところに片付けるか、廃棄処分してください。
- ・マフラー、エンジン、ブレーキ等はエンジン始動中及び停止後しばらくは高温になっています。触ると火傷等の怪我や衣服等の可燃物が燃える可能性がありますので、その部分がきちんと冷えるまで人や動物が触れることがないようにしてください。また、近くにガソリンなどの危険物や燃えやすい物を置かないでください。作業を行う際は、エンジンなどがきちんと冷えてから行ってください。
- ・本商品に使用されている全てのボルト／ナット類（商品に組み込み済みボルト／ナット類を含む）は取り付けるときに、必ず締め付け確認を行ってください。締め付けは記載された規定のトルクにて確実に行い、記載の無いものについては車両のサービスマニュアルもしくはボルト／ナット類のサイズ／種類にあった規定のトルクにて締め付けてください。締め付けが不確実な場合や組み付け不良等は走行中などに部品が脱落し、事故等に繋がります。
- ・取り付け後は100Km程度の試運転後、各ボルト／ナットを規定トルクで増し締めを行ってください。その後も500Km程度ごとに同様の増し締めを行ってください。走行前には、必ず各部の点検及び増し締めを行い、定期点検は必ず行ってください。
- ・エンジンを始動するときには、換気の良い場所で行ってください。
- ・エンジン始動時は排気口に手を出したりしないでください。火傷や排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し、安全な場所に停止して、異常箇所の点検を行ってください。
- ・作業は必ず、水平で安全な状態が確保出来る場所で車両を安定させてから行ってください。
- ・ドライブチェーン、スプロケットなどの回転部分やブレーキ、クラッチレバー／ペダル等の可動部分に手や衣服等を巻き込まれないように注意しながら作業を行ってください。
- ・ガスケット、Oリング、割ビン等は取り外し毎に必ず新品に交換してください。
- ・一般公道（舗装路）において法定速度内でのご使用を想定しております。法定速度を守り安全運転を心がけてください。

⚠️注意 誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容 及び物的障害の発生が想定される内容を示しています。

- ・本商品はオートバイに関する整備の一般的な知識及び技能を有する方（国家資格を持つ整備士）が取り付けることを前提としております。それ以外の方が取り付けを行うと本書の通りに取り付け整備をしても知識不足、技能不足で正しく取り付け整備ができないため、トラブル、破損等の原因となることがあります。国家資格を持つ整備士または指定、認証工場へ取り付けを依頼してください。
- ・本商品は記載された適合車種以外への使用はしないでください。また本商品が汎用品の場合は、弊社で確認済み車両以外に取り付けたことにより起きた不具合に関しては保証の対象外となります。
- ・本商品はノーマル車両を前提に設計されています。車両に事故歴や転倒歴がある場合や別途アクセサリー部品が取り付けられている場合には適合車種でも取り付けできない場合があります。また弊社で確認済み以外の他商品との組み合わせで取り付けた場合、車両および部品を破損させる可能性があります。
- ・塗装仕上げやアルマイト処理が施された商品は、製造上、商品の裏側や取付けステー周辺の表面仕上げにムラが発生する可能性があり、その場合タッチアップペイントを施していることもありますが、その仕上がりについてのクレームはお受けできません。また、地域の環境やメンテナンス次第によっては、サビや色落ち等の素材の経年変化が発生する可能性があり、耐久性や品質等が純正パーツとは異なるものがありますのであらかじめご了承ください。また、お手入れ等を行う際には、ガソリンやシンナー等の溶剤は使用しないでください。塗装や表面処理にダメージを与える原因になります。
- ・本商品やパッケージの角部等には、エッジや突起部があります。その際にはケガ防止のために、整備に適した作業着、帽子、安全靴を装着し、必要に応じて 防塵眼鏡、防塵マスク、手袋等の保護用具を着用して作業を行ってください。また、必要に応じて、ヤスリ等を使用してエッジ部や突起部の処理を行ってください。
- ・製品個体差による溶接や塗装、小傷歪み等、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。
- ・本商品を取り付けることで、車両側の取り付け面にキズや塗装の剥がれが起こる場合があります。また、部品の脱着するときには、塗装面への傷付きに注意して作業してください。
- ・本商品を取り付けることで、車両メーカーからの車両本体の保証修理の対象外になる場合があります。
- ・本書は取扱説明書及び本商品の取り付けに際して取り外した部品と一緒に保管してください。本商品または本商品を取り付けた車両を譲られる際には本書及び取扱説明書や警告、注意の記載があるパッケージも併せて譲渡先へお渡しください。
- ・お客様以外が取り付けを行う場合、取り付けされる方（販売店を含む）は取り付け完了後に各部の緩み、不具合等点検後、危険箇所（ハザード、突起部）無きことを確認の上、必要事項を説明し本説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- ・車両から取り外した純正部品を再利用する場合には、摩耗や破損を確認し、必要であれば新品と交換してください。



このたびは本商品をお買い上げいただき、有難うございます。
正しく取り扱いいただき、末永くご愛用いただけますようにお願い申し上げます。
また本書は大切に保管してください。

⚠️警告

作業に始める前に本書を必ず熟読いただき、記載事項を厳守して作業を行ってください。

※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

- ・本商品はパッケージまたはWEBページに記載された適合車種以外への使用はしないでください。（最新の適合車種は弊社WEBページでご確認ください。）
- ・本商品を取り付けて使用し、本商品以外の部品に不具合が発生しても本商品以外の部品の保証はどのような事柄でも一切負いかねます。（不具合により発生した修理工賃やレッカ一代、交通費など）
- ・本商品は弊社製マルチメーターを取り付けするための商品です。本来の使用目的以外での使用は絶対しないでください。
- ・12V車両専用です。6V車両や24V車両などには使用しないでください。
- ・取り付けや、配線ミスにより発生いたしました破損・不具合等については保証の対象外となります。
- ・H.I.Dキットや社外品のイグニッションコイルなど高電圧ノイズが出る商品と同時に装着しないでください。高電圧ノイズによりデジタル回路に悪影響を及ぼし、最悪の場合にはメーターが故障する原因になる恐れがあります。
- ・本商品は完全防水ではなく、防滴構造となっております。通常の雨程度の水濡れ程度では、内部に水が入ることはございませんが、メーター本体を水の中に落としたり、水没せたりすると内部に水が侵入してしまいます。もし内部に水が浸入した場合にはただちに使用を止めてください。
- ・本商品を取り付ける際には使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷が見られた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのまま使用していると重大な事故等につながる恐れがあります。
- ・取り付け後は走行前に各部に異常がないか毎回点検を行ってください。
- ・本商品の脱落がないように確実に取り付けてください。また作業中および使用中についたキズ等については保証の対象外になります。あらかじめご了承してください。
- ・オフロード走行やジャンプ、ウイリーなど激しい衝撃が加わるような行為は絶対に行わないでください。メーター外観だけでなく、内部構造を破損し、故障の原因になります。
- ・走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所へ停車し、異常箇所を点検してください。正常に機能しない場合にはご使用をおやめください。
- ・メーター本体の掃除にアセトンやシンナーなど揮発性のあるもので拭いたり、コンパウンドで磨いたりすると白く曇ってしまいますので、ご注意ください。
- ・この商品は材料に鉄などを使用していますが、金属製であっても長年ご使用されますと経年変化による劣化が生じます。必ず定期点検を行ってください。経年変化による商品の破損等の不具合については保証の対象外となりますのでご了承ください。

＜取り付け方法＞

○配線接続の準備

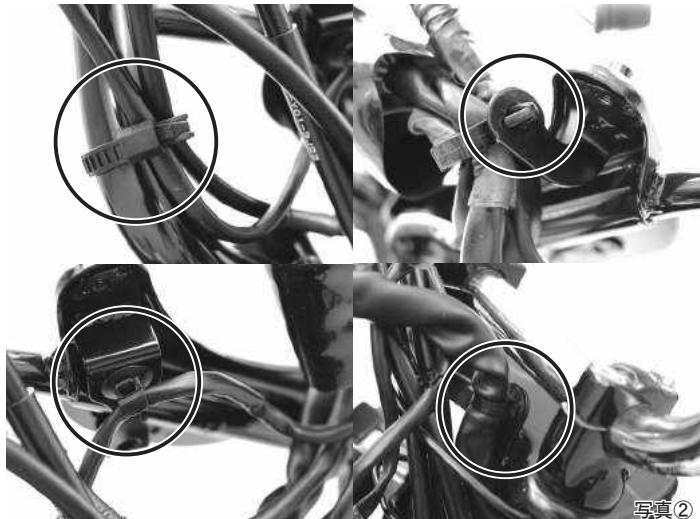
取り付けをする前にバッテリー端子を+と-の両方とも外しておきます。
車両のサービスマニュアルを参考にして、純正メーターを取り外します。
(写真①)

インジケーターランプを純正メーターから取り外し、電球をハーネスから全て外しておきます。

→電球をそのままにしておくと割れてしまい、大変危険なので必ず
ハーネスから外してください。



- 写真②の○部にあるハーネスクランプ類をハンドルなどから取り外します。(4ヶ所)



写真②

- バーエンド、コンビネーションスイッチ、ミラーなどを取り外して純正ハンドルを取り外します。
(取り外した部品でマルチメーターの取り付けに必要なものは、元に戻す際に必要になりますので、大切に保管してください。)

※すでにハンドルバーが交換してある車両の場合には、この工程は必要ありません。



写真③

- 純正ハンドルを取り外した逆の手順でハンドルバーなどを取り付けます。
(このとき、ハンドルクランプは後側2ヶ所のみで仮止めしておきます。)



写真④

- オイルドレンボルトを外してオイルを抜いてから付属の温度センサー取付け用ドレンボルトとワッシャーに交換します。
《規定トルク》 24 N・m

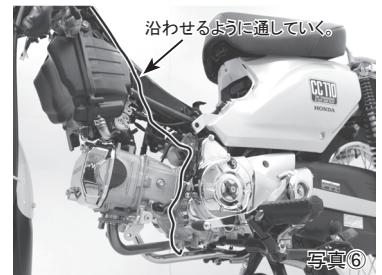
- 次にマルチメーターに付属している温度センサーを先ほどのドレンボルトに取り付けます。このとき、ネジ部に液体ガスケットを塗布してから規定トルクで取り付けしてください。
《規定トルク》 10 N・m

- 取り付けが終わったら新しいエンジンオイルを規定量入れます。



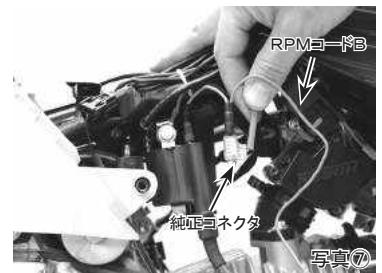
写真⑤

- 温度センサーケーブルはエキゾーストパイプに近づかないように車体の左側から純正の温度センサーハーネスに沿わせていき、途中からスロットルケーブルに沿わせるようにしてメーター取り付け部付近まで通します。(写真⑥)



写真⑥

- イグニッションコイルコネクターの前側を外してマルチメーターに付属しているRPMコードBを割り込ませるように接続します。
(写真⑦)



写真⑦

- 純正メーターに繋がっていたメインハーネスをカプラーごと下へ降ろしておきます。(写真⑧)

→このとき、純正メーターのフューエルメーターの端子を絶縁テープを巻いて絶縁処理をしておきます。(写真⑨)また、電球を外した部分も写真⑩のようにビニール袋を被せてから絶縁テープを巻きつけて絶縁処理をします。

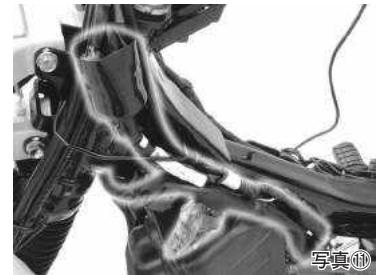


写真⑨



写真⑩

- 絶縁処理したメインハーネスをフレームに沿わせてタイラップ等で固定します。(写真⑪)

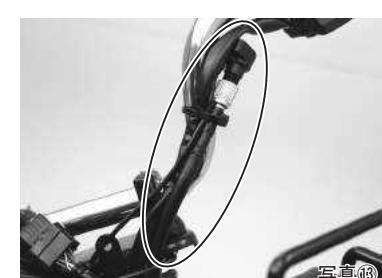
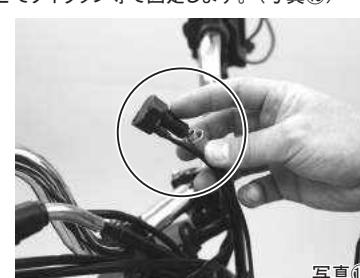


写真⑪

→このとき、ハンドルを左右に切ってハーネスに過度なストレスがかかっていないかを確認しながら固定してください。

- スピードメーターケーブルとマルチメーターに付属の速度センサーを取り付けます。(写真⑫)

→その後、ハンドルパイプ左側のコンビネーションスイッチのハーネスに沿わせてタイラップ等で固定します。(写真⑬)



2018.12.24

- ・ヘッドパイプ右側のカプラを3ヶ所外します（写真⑭）
- ・本商品の割り込みカプラをそれぞれのカプラに取り付けます。（写真⑮）
- ・マルチメーターのメインハーネスをハンドルポストの枠の内側を通して、割込みカプラの方へ通します。（写真⑯）
- ・下にある配線図を確認しながら配線の色を合わせて、マルチメーターのハーネスのギボシと割込みカプラのギボシを接続します。（写真⑰）



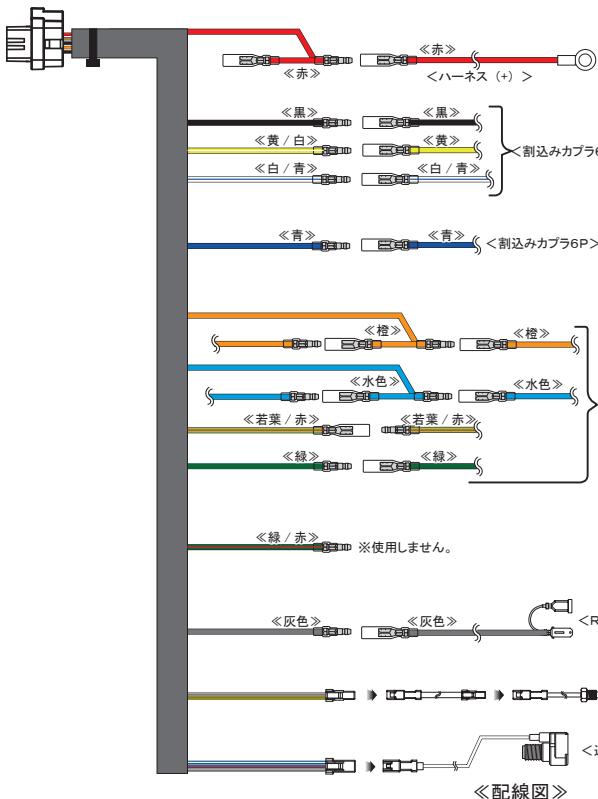
写真⑭



写真⑮



写真⑯



<配線図>

- ・ハンドルを左右にいっぽいまで切ったり、レッグシールドを取り付けた際にハーネスにストレスがかかるないようにまとめてください。（写真⑰）



写真⑰

- ・写真⑲のように付属のハーネス (+) をバッテリーの + 端子に繋ぎ、もう一方、車両の - 端子もバッテリーに接続して元に戻します。



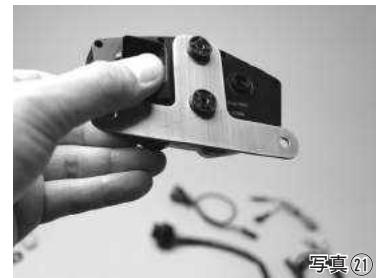
写真⑲

- ・マルチメーターに付属しているクッションラバーをメーターステーに2ヶ所取り付けます。



写真⑳

- ・そのまま、マルチメーターにメーターをステーを取り付けします。このとき、無理やり差し込むとラバーが切れてしまうので、ちょっとづつゆっくりと取り付けします。



写真㉑

- ・マルチメーターに付属のビスとワッシャを使ってステーを固定します。締め付けすぎたり、斜めにビスを差し込んだりするとメーター側の穴がダメになってしまふのでご注意ください。



写真㉒

2018.12.24

- マルチメーターに付属のスタリッシュワッシャ、スペーサーボルトを左右共に、右の写真のようにしてハンドルクランプと共に締めします。



写真⑬

- ハンドルクランプを締め付ける際には、仮止めしていた後側のボルトを一旦緩めてメーターステー側（前側）から規定トルクで締め付けます。

<規定トルク> 10 N・m

- マルチメーターとメインハーネスのカプラを接続すれば、CROSSCUBへのマルチメーターの取り付けは完了です。



写真⑭

- 最後にバーエンドを取り付けて、車両を元に戻せば作業は終了です。

●構成部品について

	部品名	個数
1	ハーネス 6P 110型	1
2	ハーネス 9P 110型	1
3	ハーネス 6P 090型 防水	1
4	ハーネス (+)	1
5	オイルドレンボルト	1
6	ドレンワッシャー	1
7	メーターステー	1
8	取扱説明書	1



写真⑮

○メーターの設定について

本商品でマルチメーターを取付けただけではまだ正確に動作しません。

速度、燃料計、回転数の設定を行う必要があります。メーターの使い方についてはメーターの説明書をご覧になってください。

<CROSSCUBの場合>

- 回転数信号・・・0.5
- 速度設定・・・JISセンサ式を選択。
→パーセント割合（STDタイヤの場合）・・・100%に設定。
- 燃料計（抵抗値）・・・100

となります。上記の数値を設定していただき、マルチメーターをご使用ください。その他のマルチメーターの設定および機能については、マルチメーターの説明書をご覧になってください。

●保証について

※保証期間は購入日より1ヶ月間です。ただし期間内であっても取り付け後の走行距離が1000Kmまでとさせていただきます。本商品を取り付け、使用したことで本商品以外の部品等に不具合が発生しても本商品以外の部品や、その他の保証（修理工賃、レッカ一代、交通費、宿泊費等含む）は保証期間内であっても弊社では一切の責任を負いません。

ご購入いただきました販売店にて下記記入欄に必要事項を記入し、必ず捺印してください。記入漏れや販売店印が無い場合は保証の対象外となりますので、記入が無い場合には直ちにご購入された販売店にお申し出てください。また本取扱説明書の記載事項に従ってご使用になられた場合のみ保証の対象となります。

ただし以下の場合には、保証期間内であっても保証の対象外になりますのでご注意ください。

- 一般公道以外で本商品の使用。
- 誤った組み方や使い方が原因による故障。
- 火災、地震などの自然災害、気象変化、犯罪、交通事故などに巻き込まれたことによる故障及び破損。
- また、使用後の外観不良に関しては保証対象外になります。万一、お気付きの点がありましたら、ご使用になる前にお問い合わせください。

ご購入日	ご購入時走行距離 Km	販売店印
年　月　日	見 本	

注意

- 構成内容や外観に不備がないかご確認してから製品の取り付けをお願いします。
- 各部品は必ず一旦仮締めとし、車体の組み付け状態を確認し、位置決めをしてから本締めしてください。
- 取り付け・調整が終りましたら、各部分のボルト・ナットの締め忘れが無いようにご注意ください。
- 取り外した純正部品（ボルト等）は元に戻す際に必要になりますので、必ず保管してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市大字山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
www.endurance-parts.com/